

第9回行徳臨海部まちづくり懇談会



第9回目の行徳臨海部まちづくり懇談会が、平成14年11月22日(金)に市川市役所第5委員会室で開催されました。

会議では、市川市塩浜協議会まちづくり委員会から市川塩浜のまちづくりに関する検討結果の報告と、行徳臨海部基本構想(案)に対する意見交換が行われました。

<写真>

第9回懇談会の様子

【開催日時】 平成14年11月22日(金曜日) 18時30分～20時15分

【開催会場】 市川市役所 3階 第5委員会室

【出席委員】

西村幸夫(東京大学教授)※座長	風呂田利夫(東邦大学教授)
歌代素克(南行徳地区自治会連合会)	佐野郷美(市川緑の市民フォーラム)
安達宏之(NPO法人三番瀬環境市民センター)	丹藤 翠(行徳まちづくりの会)
東 良一(NPO法人行徳野鳥観察舎友の会)	藤原孝夫(市川市行徳漁業協同組合)
石井 強(南行徳漁業協同組合)	富田伸彦(市川市塩浜協議会まちづくり委員会)
青山真二(市川青年会議所)※委員代理者	山本真三(都市基盤整備公団千葉地域支社)
本島 彰(市川市建設局長)※委員代理者	

<敬称略>

【会議次第】

1. 開会
2. 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について
3. 「本行徳石垣場・東浜地区」に係る最近の状況について
4. 行徳臨海部基本構想の策定に向けて
5. 意見交換
6. その他
7. 閉会

- 【会議資料】 [行徳臨海部の課題に係る最近の経緯](#)〔資料1-1〕(PDFファイル)
[平成14年 三番瀬再生計画検討会議\(円卓会議\)等開催状況](#)〔資料1-2〕(PDFファイル)
[市川市本行徳石垣場・東浜地区における江戸川第一終末処理場の設置検討について\(回答\)](#)〔資料2-1〕
石垣場・東浜地区の課題解決に向けた決議〔資料2-2〕
[市川市行徳臨海部基本構想\(案\)](#)〔資料3-1〕(PDFファイル)
[市川市行徳臨海部基本構想\(案\)－資料編－](#)〔資料3-2〕
市川塩浜まちづくり課題図(市川市塩浜協議会まちづくり委員会)

【議事内容】 [ここをクリックしてください](#)

※各委員から提出された説明用資料については、掲載していません。懇談会の資料は、市川市役所市政情報センターなどで閲覧できます。

(平成14年12月作成)

[まちづくり懇談会トップページへ](#) ← [第8回懇談会](#) ← [第2回シンポジウム](#)

[◀ 戻る](#)



市川市 建設局 都市政策室
Copyright (c) 2002
Ichikawa City. all rights reserved.

行徳臨海部の課題に係る最近の経緯

2002.11.28

月 日	内 容
平成14年	
・ 4月 1日	都市政策室に改めて「行徳臨海部対策担当」を設置
・ 4月15日	知事記者会見 「江戸川第一終末処理場に係わるアンケート調査結果集計結果について」
・ 4月17日	「第6回本行徳石垣場・東浜地区土地利用検討部会」を開催
・ 4月17日	県が「第3回三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）」を開催（浦安市）
・ 4月18日	「三番瀬海域環境再生検討部会準備会」を開催
・ 4月19日	「第6回行徳臨海部対策本部会議及び現地視察会」を開催 （習志野市芝園地先、横浜海の公園、野島海岸、葛西臨海公園）
・ 4月25日	埼玉県草加市が、市長以下28名で「自然環境保全への取組」として視察
・ 4月25日	県で「第4回江戸川第一終末処理場計画地検討会（第6回幹事会）」を開催
・ 4月26日	県が「第1回海域小委員会」を開催（船橋市）
・ 5月 5日	市長が「湖西市松見ヶ浦（浜名湖） 愛知県藤前干潟」を視察
・ 5月 6日	市長が「横浜海の公園、野島海岸」を視察
・ 5月13日	市長が「サンフランシスコ湾湿地干潟再生事例」を視察（～20日）
5月13日	「第1回市川塩浜駅周辺再整備検討部会」を開催
・ 5月15日	県が「第2回海域小委員会」を開催（市川市）
・ 5月21日	県が「第1回護岸・陸域小委員会」を開催（船橋市）
・ 5月22日	「第8回三番瀬保全再生連絡協議会」を開催（市川市）
・ 5月26日	県が「三番瀬現地視察会及び第4回円卓会議」を開催（浦安市日之出地区）
・ 5月29日	「第7回本行徳石垣場・東浜地区土地利用検討部会」を開催
・ 5月29日	県が「なの花県民会議」を開催（市川市塩浜体育館）
・ 5月30日	「第1回三番瀬海域環境再生検討部会」を開催
・ 6月 1日	「第2回海辺のふるさと再生計画発表会」を開催
・ 6月12日	県が「海岸保全基本計画策定に係る説明会」を開催（千葉県庁）

・ 6月14日	県が「第3回海域小委員会」を開催（市川市勤労福祉センタ - ）
・ 6月19日	県が「第2回護岸陸域小委員会」を開催（船橋市青少年館） ・ 市川市が護岸、陸域、基本構想案について説明
・ 6月19日	県が本行徳石垣場・東浜地区の地権者に「千葉なの花県民会議（市川市）の開催結果概要」の当該地区部分について、報告〔郵送〕
・ 6月24日	県が行徳地区自治会に「千葉なの花県民会議（市川市）の開催結果概要」の当該地区部分について、報告〔各戸回覧〕
・ 6月27日	「第7回行徳臨海部対策本部」を開催
・ 6月28日	「第2回三番瀬海域環境再生検討部会」を開催し、先進事例視察（富津干潟、盤洲干潟、東京港野鳥公園）
・ 7月 3日	第7回行徳臨海部まちづくり懇談会を開催（行徳公民館）
・ 7月12日	知事に対し「三番瀬の再生と行徳臨海部のまちづくりに関する要望書」を提出
・ 7月12日	県が「第3回護岸陸域小委員会」を開催（浦安市運動公園総合体育館）
・ 7月13日	県が「三番瀬勉強会」を開催（行徳公民館）
・ 7月17日	市川市塩浜協議会が知事と市長に対し「塩浜地区護岸整備に関する要望書」を提出
・ 7月17日	県が行徳地区自治会長に「江戸川第一終末処理場に係わるアンケート調査結果について」県職員と市職員が同行のうえ、報告〔各戸回覧〕
・ 7月19日	県が「第5回円卓会議」を開催（グリーンパレス千葉： 20日）
・ 7月22日	本庁にて、海の日記念展示会「甦れ、市川の海」を開催（引き続き、8月5日から30日まで、行徳支所にて開催）
・ 7月24日	県が「プレジャーボ - ト係留保管の適正化に関する条例」の説明会を開催（千葉県庁）
・ 7月24日	三番瀬の再生と行徳臨海部のまちづくり市民公開講座を開催（市川教育会館： 8 / 7まで4回）
・ 7月26日	環境大臣に対し「三番瀬の再生と行徳臨海部のまちづくりに関する要望書」を提出
・ 7月26日	「第8回本行徳石垣場・東浜地区土地利用検討部会」を開催
・ 7月27日	東邦大学理学部及び沿岸環境関連学会連絡協議会が第7回ジョイントシンポジウムを開催〔東邦大学〕

・ 8月 1日	第7回行徳臨海部対策本部幹事会兼第3回本行徳石垣場・東浜地区周辺環境対策部会を開催
・ 8月 2日	県が「第4回海域小委員会」を開催（市川市勤労福祉センター）
・ 8月 2日	県知事（下水道計画課）が市長に対し「市川市本行徳石垣場・東浜地区における江戸川第一終末処理場の設置検討について」意見照会
・ 8月18日	広報いちかわ日曜版フォーラムアイ .16「海と親しみ海を守り海を活かす」を発行
・ 8月19日	知事の意見照会を受け、本行徳石垣場・東浜地区地権者との土地利用相談会を開催〔19日、20日、21日の3日間〕（行徳公民館）
・ 8月22日	県が「第4回護岸・陸域小委員会」を開催（市川市勤労福祉センター）
・ 8月27日	本行徳石垣場・東浜地区周辺自治会長〔9自治会〕との土地利用相談会を開催（行徳公民館）
・ 8月29日	県で「第5回江戸川第一終末処理場計画地検討会（第8回幹事会）」を開催
・ 8月30日	第8回行徳臨海部まちづくり懇談会を開催（行徳公民館）
・ 8月30日	県が「第2回三番瀬専門家会議」を開催（浦安市運動公園総合体育館サブアリーナ）
・ 9月 2日	第8回行徳臨海部対策本部を開催
・ 9月 7日	行徳マンション同友会との「本行徳石垣場・東浜地区土地利用相談会」を開催
・ 9月11日	県が「第5回海域小委員会」を開催（千葉県消費者センター）
・ 9月13日	県が「三番瀬海域視察会」を開催（13日、19日）
・ 9月20日	市川市議会として「石垣場・東浜地区の課題解決に向けた決議」を可決
・ 9月21日	浦安市が「三番瀬シンポジウムうらやす」を開催（浦安市文化会館）
・ 9月22日	県が「第5回護岸・陸域小委員会」を開催（船橋市青少年会館）
・ 9月28日	県が「第6回三番瀬円卓会議」を開催（船橋市青少年会館）
・ 9月29日	「第2回行徳臨海部まちづくりシンポジウム」を開催（市川市市民会館）
10月 6日	「第3回三番瀬まつり市川2002」を開催（市川塩浜ヤード用地：後援 市川市他）
10月 8日	「第9回三番瀬保全再生連絡協議会」を開催（市川市）
10月17日	県が「第6回海域小委員会」を開催（千葉県消費者センター）

10月17日	県が「プレジャー-ボ-ト係留保管の適正化に関する条例」に係る適正化区域及び重点適正化区域の指定について市に意見照会〔11月8日意見のない旨、回答〕
10月20日	「第4回市川三番瀬クリ-ンアップ大作戦」を開催 (市川塩浜ヤ-ド用地：後援 市川市他)〔船橋市と浦安市とともに同日開催〕
10月21日	市川工業高校PTA研修部が三番瀬の海上視察研修会を開催
10月24日	県が「第1回三番瀬不法係留船等掃海連絡調整会議を開催(千葉県庁)」
10月25日	「市川市本行徳石垣場・東浜地区における江戸川第一終末処理場の設置検討について」千葉県知事に回答
10月28日	行徳漁協及び南行徳漁協が漁港整備について市長に要望
10月28日	県が「第6回護岸・陸域小委員会」を開催(浦安市民プラザウェ-ブ101)
11月4日	県が「第3回専門家会議」及び「シンポジウム 千葉主権の確立を目指して」を開催(ホテルサンガ-デンららぽ-と)
11月6日	市川市塩浜協議会まちづくり委員会が「市川塩浜まちづくり方針の策定について」の決議結果を記者発表
11月9日	県が「第7回三番瀬円卓会議」を開催(船橋高等技術専門学校)
11月13日	県が「東京湾沿岸海岸保全基本計画検討委員会」を開催 (葛南地区から浦安市が出席)
11月14日	「第9回本行徳石垣場・東浜地区土地利用検討部会」を開催
11月15日	「第2回市川塩浜駅周辺再整備検討部会」を開催
11月15日	県が「三番瀬に係る施設見学会」を開催 (独立行政法人 港湾空港研究所：横須賀市)
11月17日	県が「第7回護岸・陸域小委員会」を開催(船橋高等技術専門学校)
11月19日	まちづくり委員会が三番瀬と護岸の現状を会場から視察
11月20日	「第10回三番瀬保全再生連絡協議会」を開催(千葉県葛南土木事務所)
11月22日	第9回行徳臨海部まちづくり懇談会を開催(市川市役所)
11月22日	県が「第7回海域小委員会」を開催(千葉県消費者センタ-)
11月24日	県が「第8回三番瀬円卓会議」を開催(船橋高等技術専門学校)
11月28日	第9回行徳臨海部対策本部を開催

平成14年 三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）等開催状況

	日付	議事内容
第1回「三番瀬再生計画検討会議」 （於：千葉市文化センター）	1月28日	（1）検討会議のあり方について （2）今後の進め方について （3）その他
第1回三番瀬「専門家会議」 （於：浦安市市民プラザ・Wave101）	2月11日	（1）専門家会議の組織について （2）円卓会議から依頼された検討事項について ア．再生の概念について イ．検討の範囲について （3）再生計画の検討に必要な資料について （4）その他
第2回「三番瀬再生計画検討会議」 （於：船橋市青少年会館）	3月19日	（1）県からの報告事項等について （2）第1回三番瀬「専門家会議」の結果について （3）三番瀬の再生の考え方について （4）その他
第3回「三番瀬再生計画検討会議」 （於：浦安市日の出公民館）	4月17日	（1）三番瀬の再生の考え方について ・各委員からの意見発表（一人2分程度） （2）県からの報告事項について ・円卓会議の結論の取扱いについて ・第二東京湾岸道路について ・下水道終末処理場について （3）その他 ・三番瀬海域において実施予定の事業について ・小委員会について ・ソフト事業について ・次回の開催日程等について
第1回三番瀬「海域小委員会」 （於：船橋市青少年会館）	4月26日	（1）「海域小委員会」の組織について ・運営要領（案）について ・代表者等の選出について ・新規の委員の選考方法について （2）調査について ・補足調査等の実施状況について ・平成14年度に実施する調査について （3）三番瀬海域において実施予定の事業について ・実施予定事業の取扱いについて （4）その他 ・次回の開催予定日について
第2回三番瀬「海域小委員会」 （於：市川市勤労福祉センター）	5月15日	（1）三番瀬海域において実施予定の事業について ・実施予定事業の取扱いについて （2）調査について ・平成14年度に実施する調査の詳細について （3）青潮について ・青潮発生のメカニズムについて ・青潮の発生事例について ・補足調査における青潮調査結果について ・貧酸素水塊のモニタリングについて ・青潮（貧酸素水）による漁業被害状況について （4）その他 ・次回の開催予定日について
第1回三番瀬「護岸・陸域小委員会」 （於：船橋市青少年会館）	5月21日	（1）「護岸・陸域小委員会」の組織について ・運営要領（案）について ・代表者等の選出について ・新規の委員の選考方法について （2）護岸等の現状について （3）今後の検討の進め方について ・各委員からの意見発表（一人3分程度） （4）その他 ・平成14年度に実施する調査について ・次回の小委員会の開催について

平成14年 三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）等開催状況

	日付	議事内容
三番瀬視察会の開催 （於：浦安市日の出護岸周辺）	5月26日	三番瀬についての円卓会議の委員による説明の後、干潟の観察を行います。 その後、円卓会議の委員を囲んでフリートーキングを行います。
第4回「三番瀬再生計画検討会議」 （於：浦安市日の出公民館）	5月26日	（1）小委員会からの報告 ・海域小委員会からの報告 ・護岸・陸域小委員会からの報告 （2）小委員会運営要領（案）の承認について （3）三番瀬の再生の考え方について （4）その他
第3回三番瀬「海域小委員会」 （於：市川市勤労福祉センター）	6月14日	（1）海域小委員会新規委員の承認について （2）青潮について （3）その他
第2回三番瀬「護岸・陸域小委員会」 （於：船橋市青少年会館）	6月19日	（1）「護岸・陸域小委員会」の新規委員の承認について （2）千葉県、地元市からの報告 （3）今後の検討の進め方について （4）その他
第3回三番瀬「護岸・陸域小委員会」 （於：浦安市運動公園総合体育館サブアリーナ）	7月12日	（1）新規委員の選考過程について （2）千葉県からの報告事項 （3）水際線の検討について （4）その他
三番瀬勉強会 （於：市川市行徳公民館）	7月13日	（1）三番瀬の歴史 （2）三番瀬の生物環境 （3）三番瀬の物理・化学環境
第5回「三番瀬再生計画検討会議」 （於：グリーンタワーパレス千葉）	7月19日 ～20日	（1）小委員会の開催状況について （2）三番瀬の再生の考え方について （3）その他
第4回三番瀬「海域小委員会」 （於：市川市勤労福祉センター）	8月2日	（1）青潮対策について （2）その他
第4回三番瀬「護岸・陸域小委員会」 （於：市川市勤労福祉センター）	8月22日	（1）報告事項 （2）護岸・陸域の保全・再生について （3）調査について （4）その他 ・次回の小委員会について ・その他
第2回「三番瀬専門家会議」 （於：浦安市運動公園総合体育館サブアリーナ）	8月30日	（1）護岸の形状について （2）その他
第5回三番瀬「海域小委員会」 （於：千葉県消費者センター）	9月11日	（1）第2回専門家会議の結果の概要について （2）青潮対策について ・8月20日～21日の青潮の発生状況について ・青潮対策としての公募意見の概要について ・青潮対策の具体的検討について （3）その他
第5回三番瀬「護岸・陸域小委員会」 （於：船橋市青少年会館）	9月22日	（1）報告事項 ・海岸保全区域について （2）第2回「専門家会議」の結果の概要について （3）「護岸・陸域」の保全・再生について （4）その他
第6回「三番瀬再生計画検討会議」 （於：船橋市青少年会館）	9月28日	（1）円卓会議から要請のあった国への予算要望について （2）小委員会の開催状況について ・海域小委員会からの報告 ・護岸・陸域小委員会からの報告 （3）第2回専門家会議の結果の概要について （4）三番瀬の再生の考え方について （5）その他

平成14年 三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）等開催状況

	日付	議事内容
第6回三番瀬「海域小委員会」 （於：千葉県消費者センター）	10月17日	（1）青潮対策について ア．青潮対策の具体的な検討について イ．その他 （2）その他
第6回三番瀬「護岸・陸域小委員会」 （於：浦安市市民プラザ・Wave101）	10月28日	（1）「護岸・陸域」の保全・再生について （2）その他
第3回「三番瀬専門家会議」 （於：ホテルサンガーデンららぽーと）	11月4日	（1）青潮対策について （2）再生の概念について （3）その他
シンポジウム （於：ホテルサンガーデンららぽーと）	11月4日	行政と住民の新しいコミュニケーションの仕組みを考える シンポジウム 千葉主権の確立を目指して～三番瀬円卓会議から政策提案 型の民主主義・千葉モデルへ～ 第1部 住民参加についての基調講演 第2部 パネルディスカッション
第7回「三番瀬再生計画検討会議」 （於：船橋高等技術専門学校）	11月9日	（1）小委員会の開催状況について ・海域小委員会からの報告 ・護岸・陸域小委員会からの報告 （2）第3回専門家会議の結果の概要について （3）三番瀬の再生の考え方について （4）その他
第7回三番瀬「護岸・陸域小委員会」 （於：船橋高等技術専門学校）	11月17日	（1）「護岸・陸域」の保全・再生について （2）その他
第7回三番瀬「海域小委員会」 （於：千葉県消費者センタ）	11月22日	（1）前回の海域小委員会後の経過報告について ア．小笠尾コーディネーター辞任の経過について イ．平成15年度国への予算要望について ウ．コーディネーターの選任について （2）第3回専門家会議の開催結果について （3）青潮対策について （4）今後の検討事項について （5）その他

市 都 政 2 4 6 号

平成14年10月25日

千葉県知事 堂 本 暁 子 様

市川市長 千 葉 光 行

市川市本行徳石垣場・東浜地区における江戸川第一終末処理場の設置検討について(回答)

仲秋の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本市行政にご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、平成14年8月2日付けで知事より照会がございました表記の件につきましては、回答するにあたって8月から9月にかけて数回にわたり地権者及び周辺住民の方々との相談会を開催し、意見を聴いてまいりました。また、市川市議会においては「石垣場・東浜地区の課題解決に向けた決議」が議決されております。

それらの内容は、早期にこの問題を解決すること、全域を対象に適切な土地利用を実現すること、現在の環境を改善すること、地権者及び周辺住民の声を聴くこと等の要望が大半でありました。

従いまして、市川市としては、県が当該地に処理場を設置する場合には、以下の事項を前提として協力してまいりたいと存じます。

記

1. 地権者及び周辺住民が長い間待たされてきたことを最大限考慮し、早急に県の処理場設置の方針を決定していただきたい。
2. 都市計画決定地48ha全域について、早期に都市計画を変更し、適切な土地利用を実現することに尽力していただきたい。
3. 残土対策等を含む環境改善に協力をいただくとともに、将来の土地利用においても地域のより良い生活環境の実現に十分配慮していただきたい。
4. 地権者、周辺住民、市川市とともに将来の適切な土地利用を実現するための検討組織を設置していただきたい。

5. 地権者及び周辺住民には、十分説明を行うなど誠意を持って対応していただきたい。

[戻る](#)

市川市行徳臨海部基本構想（案）

市 川 市

目 次

- 1 . 背景及び目的
- 2 . 地域の特性
- 3 . 行徳臨海部の課題
- 4 . 行徳臨海部の基本的な方向性及び将来像
 - (1) 基本的な方向性
 - 行徳臨海部の基本的な方向性
 - 地域別の基本的な方向性
 - (2) 将来像
 - 行徳臨海部の将来像
 - 地域別の将来像
- 5 . 将来像の実現に向けた基本的な方針
 - (1) 将来像の実現に向けた基本的な方針
 - (2) 基本的な方針図

1 . 背景及び目的

市川市の臨海部の歴史において、これまで埋立てと工業地域の配置は、大きな位置を占めてきている。ただし、これはよく言われるような一方的な開発の歴史ではなく、それぞれの時代背景の中で、都市と自然、経済と環境の接点を探りながら進められてきたもので、その過程では、野鳥の飛来地を保護するために、行徳近郊緑地特別保全地区が市街地内に確保されている。同時に、これまでの埋立ては本市の都市づくりおよび財産基盤の確立において、大きな役割を果たしてきたことも事実である。

一方、市川地先の浅海域は、全国的にも高品質の海苔をはじめ、豊かな水産物を生み出す漁場として利用されてきた。また、全国有数の渡り鳥の飛来地、稚魚やアサリなど海の生物を育む自然環境としても注目を集めてきている。さらに、近年においては、地球環境保全の意識が高まる中で、「三番瀬」に対する国民の関心も大きくなるとともに、この浅海域の環境的意義が「環境に関する補足調査」によっても明らかになってきている。こうしたことから、この浅海域が貴重な自然の財産であることも、広く認識されてきたところである。

しかしながら、一帯の埋立てが終了した後、不自然な地形による潮流の停滞、あるいは地盤沈下による干潟の水没などにより、赤潮や青潮、洪水時の淡水流入などに対して脆弱な構造になってしまった。特に漁場環境の悪化は著しく、アサリの収穫の漸減や海苔漁場の沖合化が進み漁業の継続すら不安な状態となっている。

また、沿岸部においては、船の不法係留やゴミが不法投棄されるなど荒廃が進んでいる。加えて、海との接点となる護岸が、将来の埋立て事業を前提とした仮の直立護岸であるため、自然との触れ合いを求める市民の要求が高まる中で、せつかくの自然があるにもかかわらず、市民が海に親しむことのできない状態となっている。

このままでは、市川の漁業は漁場環境の悪化と将来への不安によって継続すら困難となる状況となっている。同時に、漁業と一体となって維持されてきた自然環境のバランスも損なわれる恐れがあり、市民の望む自然との触れ合いの実現も困難な状況である。これらを考え合わせると、このまま放置することによって、望ましい状態となることは期待できない。そこで、市は一貫して「海を再生し、市民の海を取り戻す」ことを主張してきている。

こうした背景の中で、県の市川二期埋立計画の中止を受け、新たに三番瀬の再生と行徳臨海部のまちづくりに関する基本構想を策定することとしたものである

この基本構想は、貴重な自然環境である三番瀬を保全しながら、内陸部、臨海部と一体として良好なまちづくりを進め、人と自然と産業が共存して、将来とも安定的に持続可能な地域社会を形成していくことを目指すものである。

さらには、この構想を基本として、地域住民、漁業者、企業、NPO、行政などが協力して、自然の知恵と力を借りながら、海の再生と行徳臨海部のまちづくりの作業を進めることによって、市川の臨海部に新しい文化と歴史を作り出すことが期待される。

同時に、東京湾全体のことを考え、また、全国の海の再生のモデルとなり、さらには、国際的な湿地環境のネットワークに貢献していくことも、視野に入れていかなければならない。

2. 地域の特性

地域の歴史

- ・舟運や塩づくりなど、水辺のまちとして、他地域との交流で栄えた歴史のあるまちである。

地域の自然

- ・三方を、旧江戸川、江戸川や海に囲まれた、豊かな水辺のまちでもあった。
- ・水田、蓮田、干潟、アシ原など、広大な水辺の自然があった。

市街地形成

- ・土地区画整理事業、公有水面埋立事業等の計画的市街化により急激な都市化が進んだ。
- ・一方で、まちのうるおいと水辺が失われてきた。

広域的位置

- ・広域交通基盤（鉄道、高速道路、国道等）が整備された利便性の高い地域である。
- ・東京湾岸地域においても、地域相互の交流・連携が期待できる位置にある。

上位計画、関連計画施策の展開

<基本構想>

基本理念：「自然との共生」が基本理念の一つ

基本目標：「人と自然が共生するまち」が基本目標の一つ

- ・自然と共生するまちの次世代への引き継ぎ
- ・貴重な自然の保全、失われた自然の再生と身近に親しめる緑と水辺空間の新たな整備

<基本計画>

リーディングプラン：「水と水辺の再生プラン」がテーマの一つ

- ・水と緑のネットワーク化推進計画
- ・小川再生プラン
- ・水辺プラザ整備事業（大柏川調節池）
- ・江戸川の水辺空間整備事業
- ・海辺の親水空間整備事業

<葛南自然ふれあいモデル地区事業>

- ・葛南広域公園（拠点施設：県施行、範囲：市川・船橋：面積23ha）

<その他>

- ・江戸川放水路のスーパー堤防、旧江戸川の堤防改修による水辺の整備
- ・下水処理水の活用による水路の復活

3 . 行徳臨海部の課題



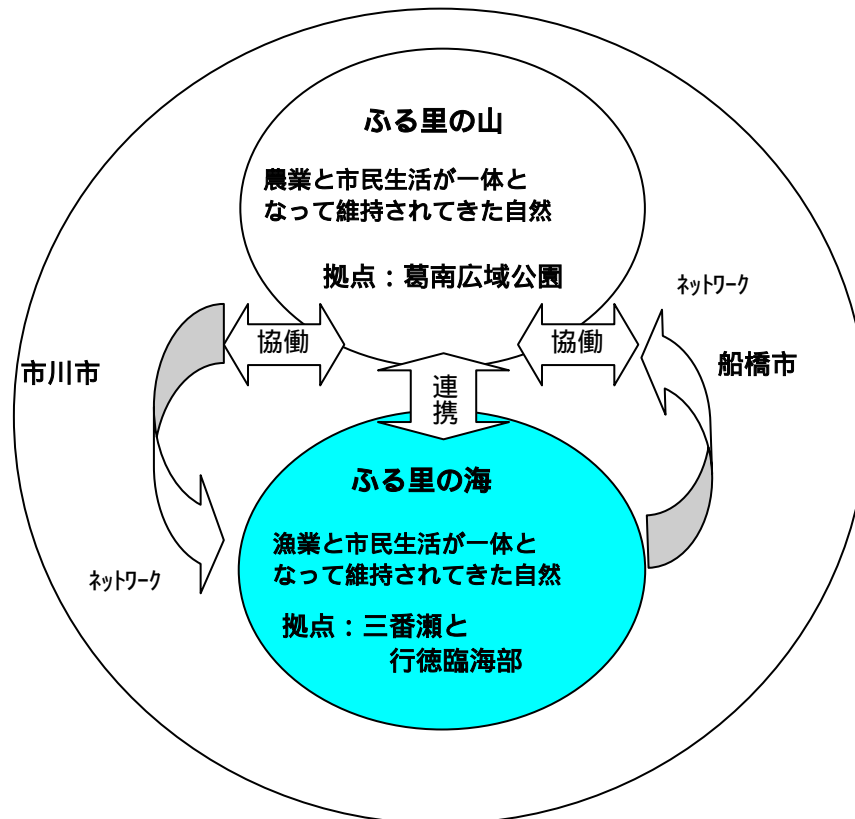
4 . 行徳臨海部の基本的な方向性及び将来像

(1) 基本的な方向性

行徳臨海部の基本的な方向性

市川市全域における行徳臨海部の基本的な方向性を以下のように定める。

< 里山・里海の再生 >



地域別の基本的な方向性

海と海浜部及び本行徳石垣場・東浜地区の基本的な方向性をそれぞれ以下のように定める。

< 海と海浜部 >

(護岸部)

法律に基づく海岸線の変更と共に、利用形態(市民利用や漁業、景観等)に配慮した高潮対策としての護岸の整備

開かれた海辺づくり(ワイズユース、楽しく遊べる)

海岸線の利用区域分けの設定(環境保全、漁業、市民利用の棲み分けによる共存)

(漁業)

恒久的な漁港整備と航路の集約(安全性、利便性、機能性の確保、青潮発生抑制)

漁場環境の改善と生産性の向上

市民と共存する都市型水産業への取組(栽培漁業、三番瀬のプラットフォーム化、ふれあい体験型漁業)

(三番瀬)

水質・底質環境の保全・再生

(海水循環の促進、自然浄化能力の向上等)

ラムサール条約登録による海域環境及び内陸性湿地の保全・再生

地域固有の海辺の原風景と利用の再現(アシ原、藻場、干潟等)

港湾計画との整合(市川航路の航行安全性確保、港湾計画(航路浚渫)と環境保全(青潮発生抑制))

(市川塩浜駅周辺)

三番瀬と行徳近郊緑地の自然環境を活かした自然環境学習及び研究の場の形成

海辺にふさわしいまちづくり

(交通利便性や海辺に近い立地特性を生かした望ましい土地利用転換)

市街地、行徳近郊緑地、海との連携強化(遊歩道、緑地の整備による人と緑のネットワーク強化)

(行徳近郊緑地)

行徳近郊緑地と海との連携強化(水のネットワーク強化)

行徳近郊緑地の再整備

(市民との協働)

保全、再生、維持管理への市民参加と人の育成

しくみと拠点作り

(人と自然との共生)

人の利用と自然環境の保全との調和、利用のルールづくり

自然の生態系に配慮

基本的な方向性のコンセプトを以下のように定める。

海と親しみ・海を守り・海を活かす

かつての豊かな海を再生し、市民が親しめる海辺を取り戻すことを目指して

< 本行徳石垣場・東浜地区 >

水（川と海、そして水路）と緑あふれるまちづくり

江戸川沿川地域や対岸地域（高谷・原木）との連携を考慮したまちづくり

災害発生時に対応が可能な防災まちづくり

まちづくりと一体的な洪水対応施設の整備

広域からの利用に供する機能配置の誘導

土地の規模・形態を活かした空間活用

行徳地域の住民が誇りに思い、地域全体の利用に供するシンボリックな空間の創出

地域全体の楽しみ場、憩いの場の創出

新しい形態での職住共存のまちづくり

緩衝機能空間の確保

（県が処理場建設についての検討に着手しており、建設される場合も、当該空間の確保が必要となる）

居住機能との調和ある空間利用

市民との協働

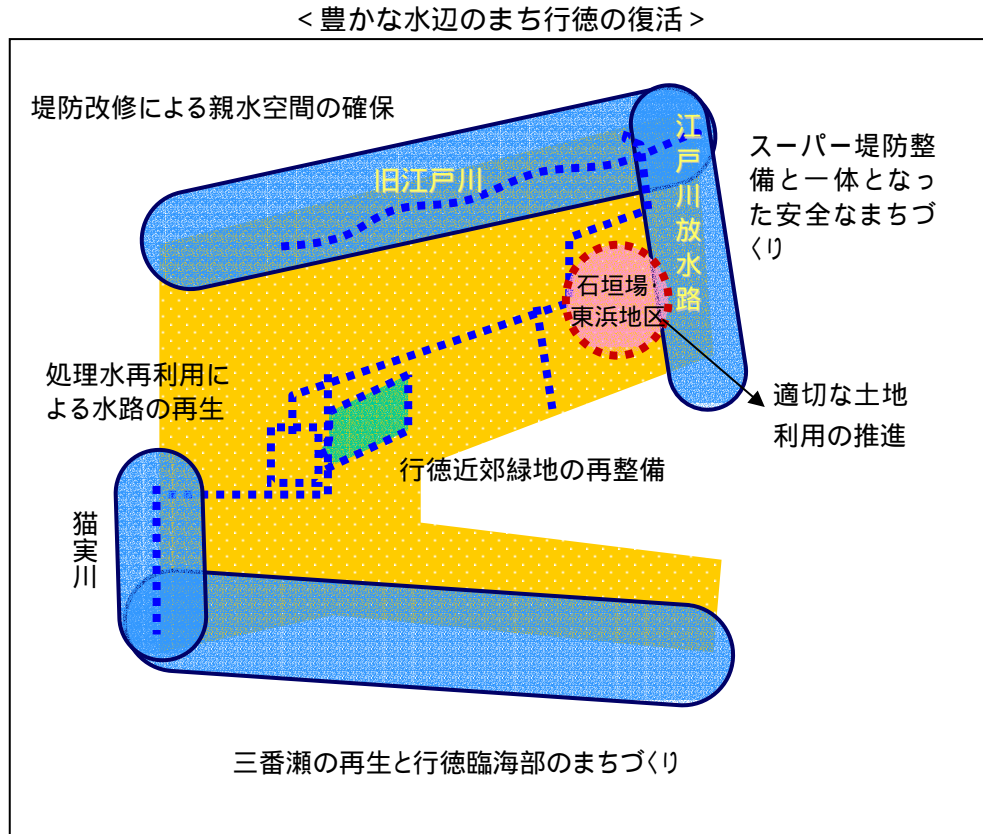
基本的な方向性のコンセプトを以下のように定める。

行徳地域の特性とこの地区のポテンシャルを活かした積極的なまちづくりを
目指して

(2) 将来像

行徳臨海部の将来像

行徳臨海部の将来像は次に示すとおりである。



地域別の将来像

地域別の将来像は次に示すとおりである。

< 海と海浜部 >

海と臨海部、内陸部を一体としてまちづくりを進め、自然、漁業、市民生活、企業活動が共存する、持続可能な地域社会の形成を図る

< 本行徳石垣場・東浜地区 >

地権者、周辺住民及び行政が連携を図りながら、市民の安全と快適な生活環境の確保を目指し、楽しく憩える緑の生活拠点の形成を図る

5 . 将来像の実現に向けた基本的な方針

(1) 将来像の実現に向けた基本的な方針

将来像の実現に向けた基本的な方針を以下のように定める。

< 海と海浜部 >

海域の自然環境・漁場環境を保全・再生する

漁業の安定と継続を図る

市民が親しめる海辺をとりもどす

安全を確保する

市川塩浜駅周辺を海辺の街にふさわしく再整備する

自然環境学習・研究の場とする

行徳近郊緑地を再整備し海との連携を図る

人と水と緑のネットワークをつくる

市民と協働で進める

自然の知恵と力を借りる

<本行徳石垣場・東浜地区>

広域的な人と水と緑のネットワーク拠点をつくる

地域コミュニティを育てる

地域の防災機能を確保する

地域の個性をつくりだす

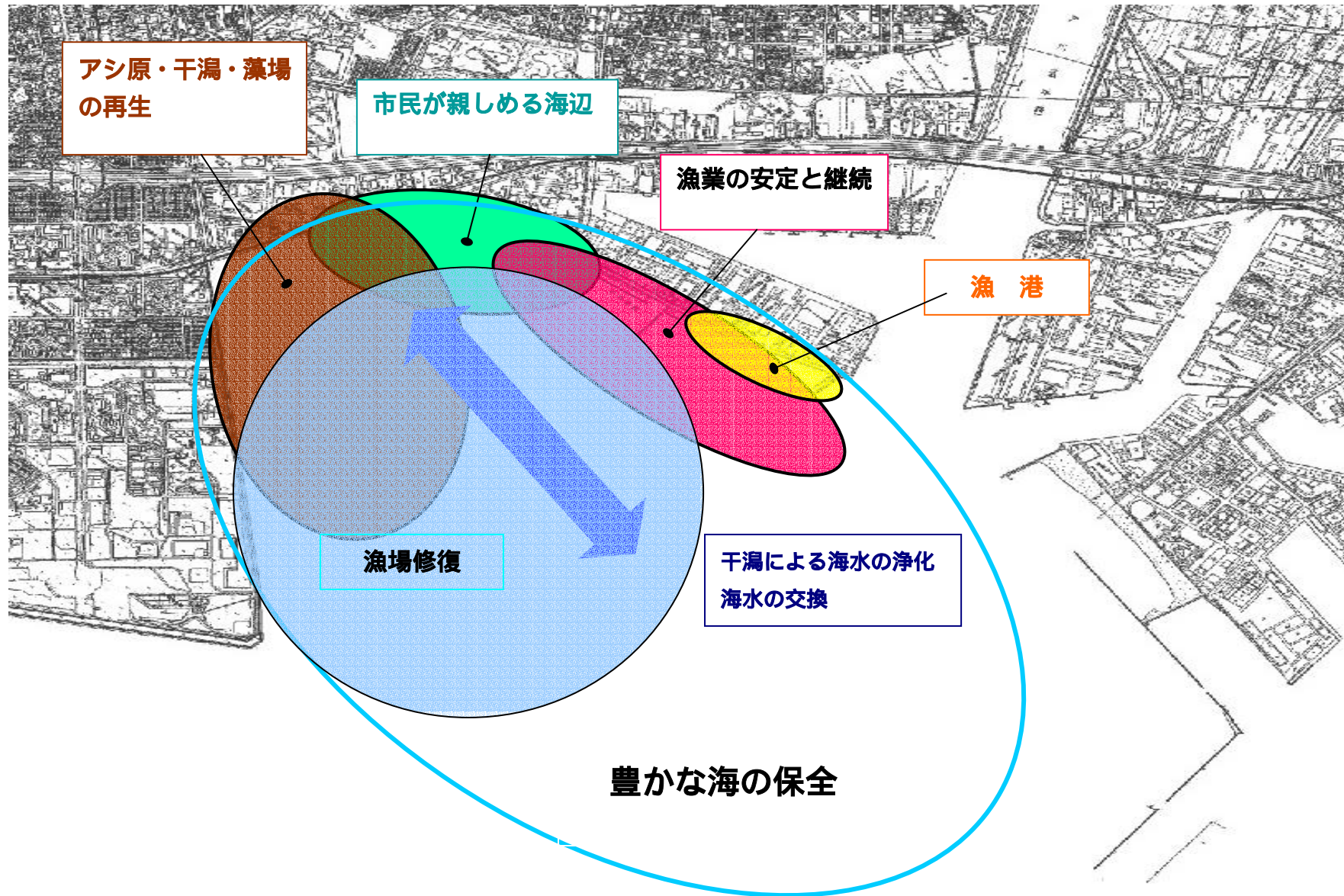
緩衝空間を確保する

市民と協働で進める

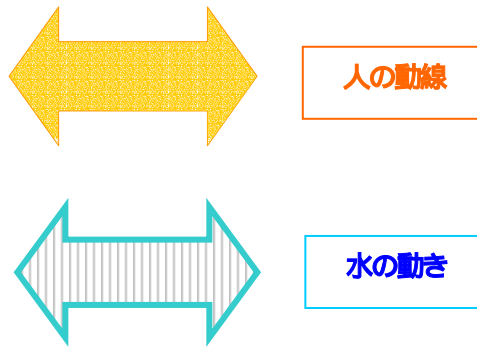
(2) 基本的な方針図

基本的な方針に基づき、海と海浜部及び本行徳石垣場・東浜地区について基本的な方針図を示す。

海と海浜部の基本的な方針図



海浜部の基本的な方針図



行徳近郊緑地

- ・ 野鳥の生息に適した環境づくり
- ・ 自然観察の場として整備
- ・ 良好な湿地帯の再現
- ・ 観察者受入にも配慮した整備

(千鳥水門・暗渠水門の拡張、観察路(遊歩道)、JR 塩浜駅からのアクセス用通路、干潟面積拡張・底質の改善等)

歩行者動線の確保
 湾岸道路の蓋掛け
 ペDESTリアゲル
 遊歩道等

歩行者動線の確保
 遊歩道、サイクリング
 ロード等

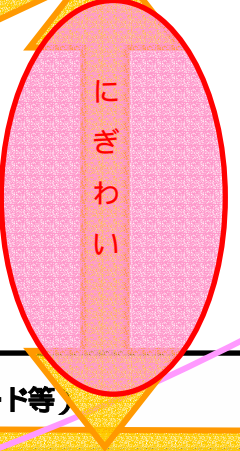
海水文の促進
 (水路の開削、暗渠、ポンプ等の整備等)

ふれあいと学び
 (研究施設、環境学習施設(観察・体験・研修・
 宿泊施設、湿地・アシ原等の実験施設等)

猫実川
 (流入河川の水質浄化、
 多自然型護岸)

JR京葉線

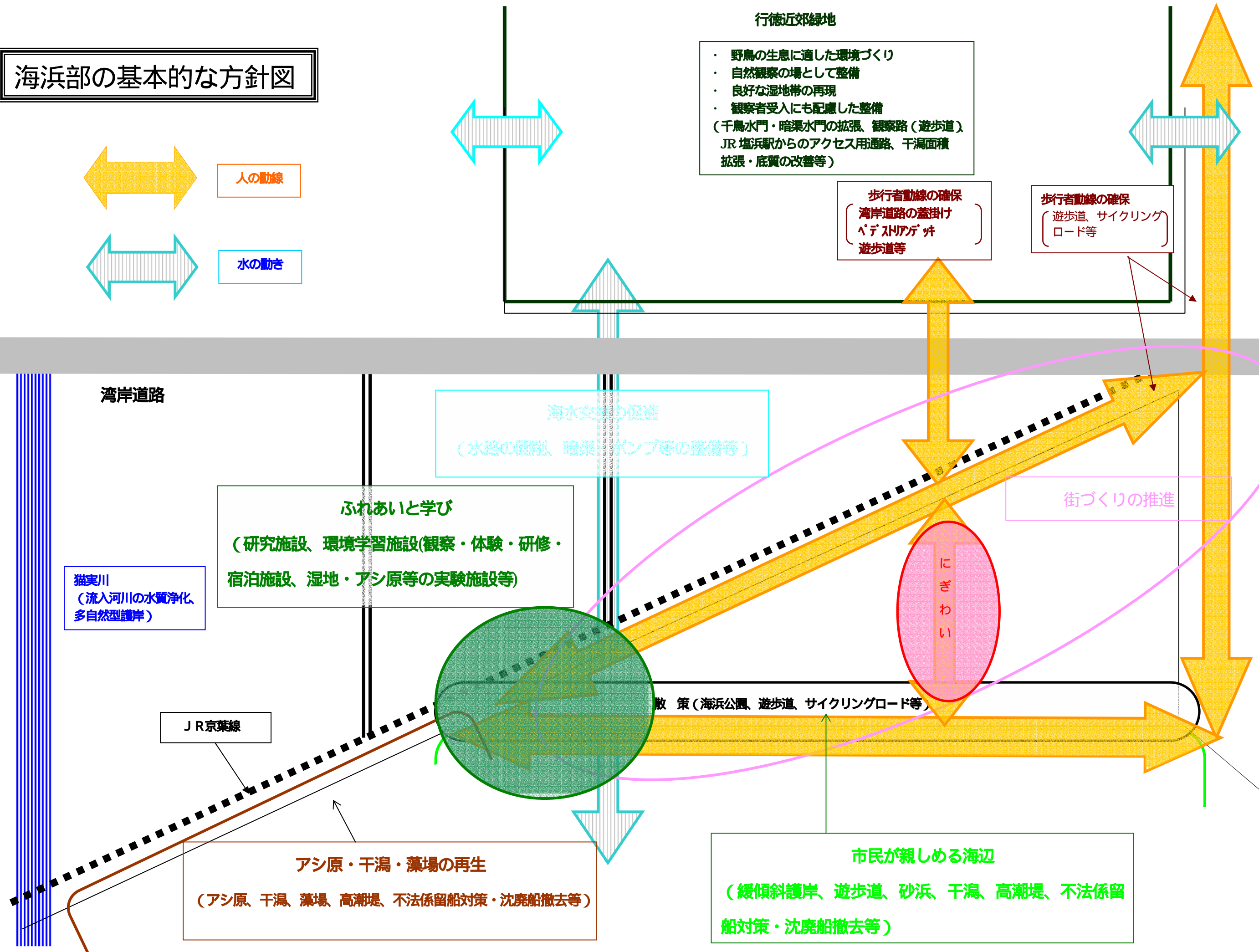
街づくりの推進



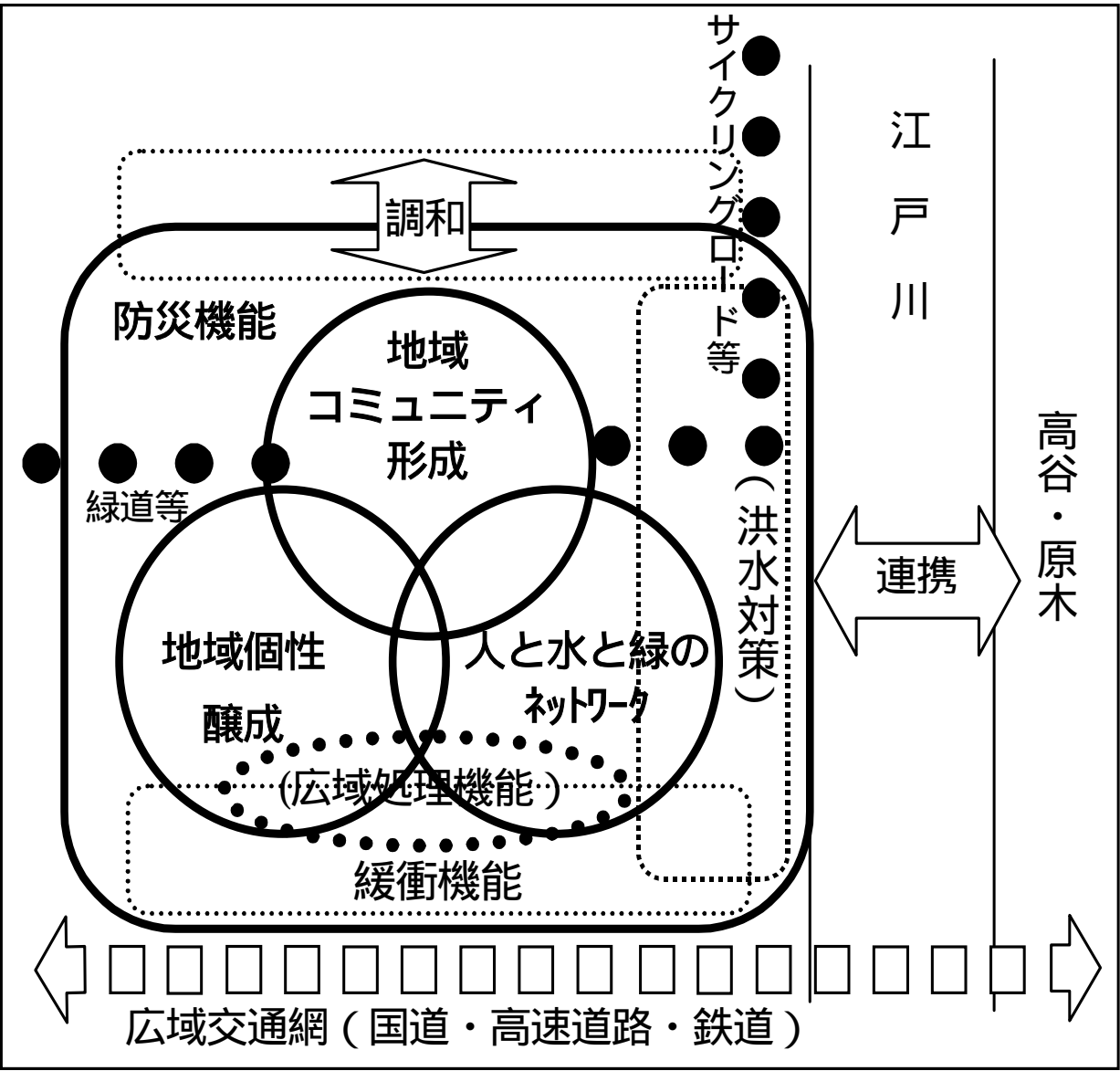
散策策(海浜公園、遊歩道、サイクリングロード等)

アシ原・干潟・藻場の再生
 (アシ原、干潟、藻場、高潮堤、不法係留船対策・沈廃船撤去等)

市民が親しめる海辺
 (緩傾斜護岸、遊歩道、砂浜、干潟、高潮堤、不法係留
 船対策・沈廃船撤去等)



本行徳石垣場・東浜地区の基本的な方針図



一資料編 目次一

※ 行徳臨海部まちづくり懇談会各委員から提出された説明用資料については、掲載しておりません。

行徳臨海部まちづくり懇談会の資料は、市川市役所市政情報センターなどで閲覧できます。

1. 行徳臨海部の課題に係る最近の状況について

2. これまでの市民意見について

(1) 市民意見・提案

1) 行徳臨海部まちづくり懇談会 (第1回平成12年10月～第8回平成14年8月)

2) 行徳臨海部まちづくりシンポジウム (第1回平成14年2月、第2回同9月)

3) 漁業者懇談会 (平成13年9月、11月)

4) フォーラムアイ、広報に寄せられた市民意見

(2) 意見・提案の整理

(3) 議事録 (行徳臨海部まちづくり懇談会、行徳臨海部まちづくりシンポジウム、漁業者懇談会、市民公開講座)

3. 基本的な方針に基づく方策・課題等の検討(案)

(1) 本行徳石垣場・東浜地区

(2) 海と海浜部

(3) 海岸線の位置の比較検討

4. 視察の記録

5. 参考図

(1) 護岸の断面構造イメージ

(2) 干潟の再生イメージ

(3) その他のイメージ

■資料編の資料細目

1. 行徳臨海部の課題に係るこれまでの経緯

- (1) これまでの経緯（市川市の取り組み経緯）
- (2) 三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）について
- (3) 江戸川第一終末処理場計画地検討会について

2. これまでの市民意見・提案

(1) 市民意見・提案

1) 行徳臨海部まちづくり懇談会（第1回平成12年10月～第8回平成14年8月）

ア. 第1回 行徳臨海部まちづくり懇談会（平成12年10月30日）

(1) 三番瀬の自然環境の保全と市川市臨海部のまちづくりについて（市川緑の市民フォーラム案）（佐野委員）

(2) 三番瀬海辺のふるさと再生計画 2000年版 2000年10月（三番瀬 海辺のふるさと再生計画実行委員会（三番瀬フォーラム市川／行徳郷土文化懇話会／市川市 コーディネータ 千葉大学都市計画研究室（北原理雄代表））（安達委員）

(3) 行徳ウォーキングトレイル（行徳地域都市計画整備事業）を中心とした行徳の未来マスタープラン（案） 2000年7月 行徳まちづくり研究会（まちづくりアイビーリーグ・行徳ワークショップ）（丹藤委員）

イ. 第2回 行徳臨海部まちづくり懇談会（平成13年3月3日）

(1) 市川市への質問（佐野委員）

(2) 行徳臨海部街造り懇談会資料 平成13年3月3日 市川市行徳、南行徳漁業協同組合（宮崎委員）

ウ. 第3回 行徳臨海部まちづくり懇談会（平成13年5月21日）

(1) 徳臨海部街造り懇談会資料 平成13年3月3日 市川市行徳、南行徳漁業協同組

（元千葉県水産試験場海苔分場長 関氏）（ビデオ説明あり）

(2) JR市川塩浜駅周辺再整備構想（市川市塩浜再開発協議会）（米山委員）

(3) イメージ図（丹藤委員）（壁図にて説明）

エ. 第4回 行徳臨海部まちづくり懇談会（平成13年10月3日）

(1) 市川の海と海辺のまちづくり NPO法人 行徳野鳥観察舎友の会（東委員）

(2) スライド説明—塩浜地区再開発計画（仮称）（塩浜再開発協議会事務局 矢板氏）

(3) 2001国際湿地シンポジウムin東京湾三番瀬（佐野委員）

(4) 101ヘクトール計画の事業中止後における緊急に行うべき三番瀬保全策の実施について（要望）三番瀬フォーラム 事務局長 安達宏之 三番瀬研究会 代表小笠尾精一（安達委員）

オ. 第5回 行徳臨海部まちづくり懇談会 (平成14年1月11日)

(1) イメージ図 (丹藤委員)

(2) 101ha埋立見直し案白紙撤回以上の市川臨海部まちづくりと三番瀬の自然環境回復の基本コンセプト 2002.1.11 (スライド説明) (佐野委員)

カ. 第6回 行徳臨海部まちづくり懇談会 (平成14年3月28日)

(1) 望ましい水際線の設定について(市川市漁業協同組合、南行徳漁業協同組合)(石井委員)

(2) 三番瀬の自然環境の保全と市川市臨海部のまちづくりについての市民提案(Ⅱ)

(市川緑の市民フォーラム案 2002年3月19日) (佐野委員)

キ. 第7回 行徳臨海部まちづくり懇談会 (平成14年7月3日)

(1) 行徳臨海部まちづくり懇談会資料 (佐野委員)

・ 藤前干潟におけるアナジャコ類調査 (藤前干潟を守る会)

・ 名古屋市・藤前干潟を埋め立てるゴミ処分場計画に関する緊急要請書

((財)日本自然保護協会 (NACS-J))

・第6回東京湾勉強会資料(アナジャコの巣穴形成が干潟生態系に与える影響 東邦大学 木下今日子)(スライド説明あり)猫実川河口域の底泥や生態系の現状(仮称)

(2) 三番瀬海辺のふるさと再生計画 ー三番瀬と街をむすびつける仕かけを組み立てようー
2002年6月 (三番瀬 海辺のふるさと再生計画実行委員会 (三番瀬フォーラム市川/行徳郷土文化懇話会/市川市) コーデネータ 千葉大学都市計画研究室 (北原理雄代表)) (安達委員)

ク. 第8回 行徳臨海部まちづくり懇談会 (平成14年8月30日)

(1) 行徳臨海部基本構想(案)についての意見と要望 (東委員)

(2) 8月18日発行の広報いちかわ日曜版フォーラムアイに対する意見 (佐野委員)

今後の懇談会の進め方について (提案) (佐野委員)

(3) 豊饒の海三番瀬を目指して (安達委員) (スライド説明)

2) 行徳臨海部まちづくりシンポジウム

ア. 第1回 行徳臨海部まちづくりシンポジウム (平成14年2月17日)

(1) スライド説明 (タイトル不明) (風呂田委員)

(2) 行徳の海 (三番瀬) の再生計画について (要望) (歌代委員)

(3) 行徳臨海部まちづくりシンポジウムへの意見 (松沢委員)

(4) 三番瀬の自然環境の保全と市川市臨海部のまちづくりについての市民提案(Ⅱ)

準備段階資料 市川緑の市民フォーラム案 2002年2月17日 (佐野委員)

海と海浜部のイメージ図(佐野委員) (スライド説明あり・タイトル不明)

(5) 海辺のふるさと再生計画(安達委員)

三番瀬問題の解決に向けた方向性(総論・イメージ) (三番瀬環境保全開発会議資料
2001.12.15作成/2002.2.16改訂) (安達委員)

(6) イメージ図(丹藤委員)

(7) イメージ図(東委員)

(8) 再生を目指した「望ましい水際線」(石井委員)

(9) 塩浜地区再開発コンセプト(米山委員)

イ. 第2回 行徳臨海部まちづくりシンポジウム (平成14年9月29日)

(1) スライド説明(タイトル不明) (川口委員)

(2) 東京湾の自然の現況と干潟環境修復(風呂田委員) (スライド説明あり)

(3) 行徳臨海部まちづくりシンポジウム資料(佐野委員)

・埋立計画がゼロになった三番瀬。今、埋め立て思想との決別を

・真のパートナーシップで市川から発信—これぞ市民の世紀にふさわしい取り組み?

(スライド説明あり)

(4) 行徳臨海部まちづくりシンポジウム資料(安達委員)

・青潮に対する保全対策について(仮称)

・三番瀬レンジャー(スライド説明あり—豊饒の海三番瀬を目指して)

(5) イメージ図(丹藤委員) (スライド説明あり)

(6) 行徳臨海部基本構想(案)についての意見と要望(東委員)

(7) 将来の市川の漁業について(石井委員)

(8) スライド説明(塩浜地区の整備イメージ(仮称)) (富田委員)

3) 漁業者懇談会 (平成13年9月、11月)

4) フォーラムアイ、広報に寄せられた市民意見

(2) 意見・提案の整理 (「本行徳石垣場・東浜地区」・「海と海浜部」)

(3) 議事録

[行徳臨海部まちづくり懇談会](#)、[行徳臨海部まちづくりシンポジウム](#)、[漁業者懇談会](#)、[市民公開講座](#)

3. 基本的な方針に基づく方策・課題等の検討(案)

- (1) [本行徳石垣場・東浜地区](#)
- (2) [海と海浜部](#)
- (3) [海岸線の位置の比較検討](#)

4. 視察の記録

5. 参考図

- (1) 護岸の断面構造イメージ
- (2) 干潟の再生イメージ
- (3) その他のイメージ